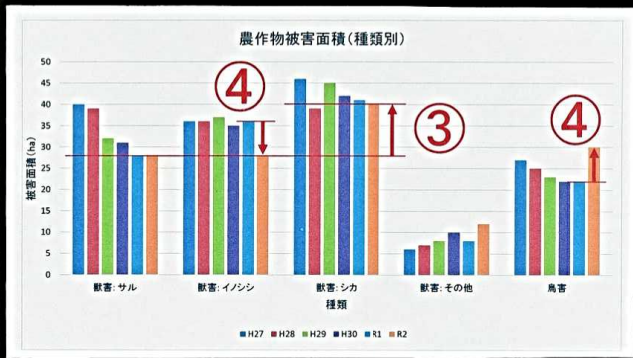
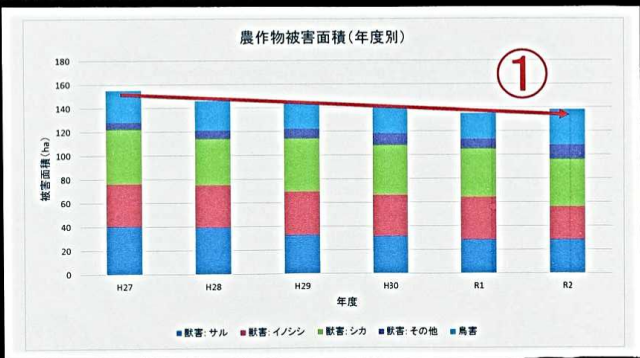
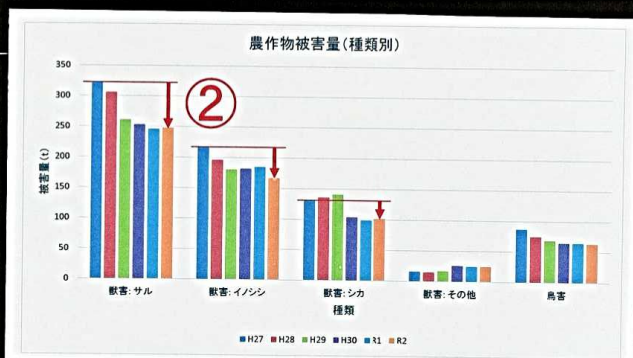
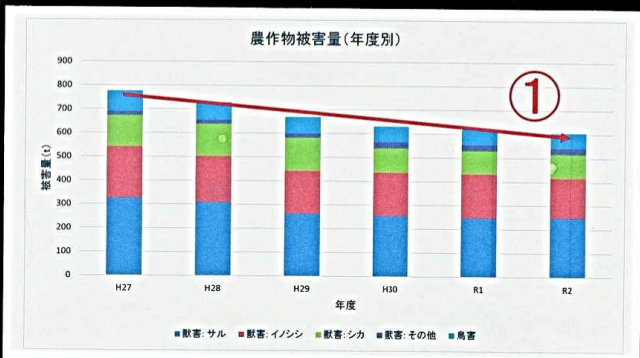
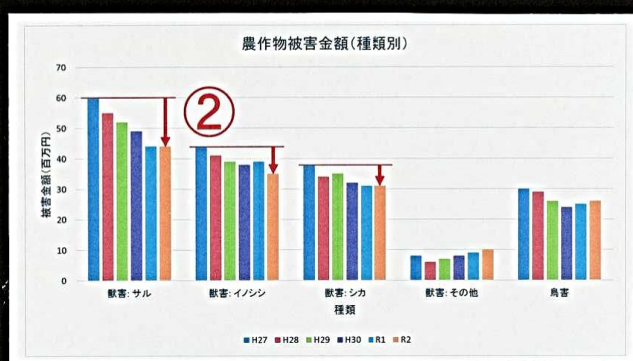
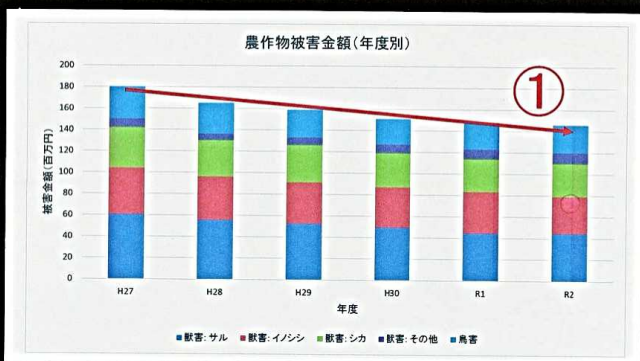


山梨県の鳥獣害

近年、サルやイノシシ、シカなどの野生動物が農作物を食い荒らす被害が大きな社会問題になっています。全国で起きている野生動物による農作物被害は年間約 200 億円にもなります。私の住んでいる山梨県でも、桃などの農作物を食べられるなどの被害が相次いでいます。私はその被害について興味を持ち、山梨県の獣害に関する統計データを使って、被害金額、被害量、被害面積を年度別、獣害の種類別に分けて6種類のグラフにしました。



年度別のグラフを見ると、被害金額、被害量、被害面積ともだんだん減っていることがわかります(①)。よって、山梨県の農家は獣害を減らすための対策をしているのではないかと思います。

種類別のグラフを見ると、主な被害はサル、イノシシ、シカによるものであることがわかりますが、被害金額、被害量ではサルによる獣害の減り方が、イノシシ、シカと比較して大きいことがわかりました(②)。農家の対策はサルを重点的に行われているのではないのでしょうか？

一方、被害面積のグラフから、サルやイノシシに比べてシカの被害面積の方が多くなりました(③)。被害金額と合わせて考えると、シカが食べているものは単価が安く、サルやイノシシが食べているものは単価が高いといえるのではないのでしょうか？山梨の場合は、サルによる被害は果物が中心なのではないかと考えました。

令和2年の被害面積では、イノシシの被害面積が大きく減って、反対に鳥害の面積が大きく増えています(④)。この2つに関係があるのかどうかは、このグラフだけでは説明できませんでした。ほかの統計データで説明できないか、調査してみると面白いと思いました。

出典：山梨県農政部農業技術課

「山梨県における鳥獣被害の状況」
(H27～R2 年度)

